

2022年度(令和4年度)学校評価自己評価表

城東中学校区	校番 13	福山市立蔵王小学校
最終更新日		2022年(令和4年)4月11日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>中学校区で統一した育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)のもと、9年間を見据え児童・生徒の思考や単元の意義を協議し、子どもの学ぶ姿から授業を構成する。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>自分の考えをまとめ、他者と協働し、課題を解決しよとする力が育ちつつある。</p> <p>自己有用感、自己肯定感が低い児童・生徒において、学ぶ意欲の向上に課題がある。</p>	<p>育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>スキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を見つけ、解決の道筋を見いだす力 <課題発見・解決力> ○根拠をもって相手を説得する力 <論理的思考力・表現力> ○自他を認め合い思いやる態度 <協働性> ○自らの行動を律し、高まろうとする態度 <自己指導力> 	<p>目標を定める子 ねばり強く学ぶ子 自らを律し行動する子</p> <p>校区スタンダードで目指す児童・生徒の姿(達成基準)を系統的に4つのステージで捉え、校区で統一した取組を進め、共通の指標で評価していく。</p> <p>自ら考え学ぶ授業改善の実現に向けて、校区全体で児童・生徒に育むスキルと倫理観を明確にする。系統的指導のあり方を協議の柱として、校区授業研究を活性化する。</p>
---	--	--	--	---

III 自校

<p>ミッション</p> <p>主体的な学びを通し、自立し、自己と郷土の豊かな将来を創造する生徒を育てる。</p>	<p>育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)</p>	<p>課題発見・解決力</p>	<p>論理的思考力・表現力</p>	<p>協働性</p>	<p>自己指導力</p>	
<p>学校教育目標</p> <p>豊かな心を持ちたくましく伸びる子</p>						
<p>現状</p> <p><児童></p> <p>○子ども自ら、見通しをもち、単元の最後にふり返りをする中で、学びの主役が子どもになってきている。高学年では、自分で計画を立てる自主学習が定着してきた。</p> <p>○三者懇談で、自分の学びを自分で語ろうとする子どもが増えてきている。</p> <p><授業></p> <p>○高学年では、既習にふり返って、自分の学びをメタ認知することで自主学習の取組が、「自分の好きなこと」から、「自分の伸ばしたいこと」に変容しつつある。</p> <p>○全国学力テストの結果から、国語では、語彙力が少なく、書かれていることを正確に読み取り、自分の考えを作ることに課題が見られた。</p>	<p>めざす子ども像</p>	<p>低学年</p> <p>課題を見つけ、解決しようとしている。</p>	<p>相手の意見を最後まで聞き、自分の考えを持ち、相手に伝えることができる。</p>	<p>友だちの良いところに気付いている。</p>	<p>様々な活動に進んで挑戦し、責任を持ってやり遂げようとしている。</p>	
	<p>めざす子ども像</p>	<p>中学年</p> <p>課題を見つけ、既習事項や経験をもとに解決しようとしている。</p>	<p>相手の意見を取り入れながら、根拠を明らかにして自分の考えを伝えることができる。</p>	<p>自分や友達の良さに気付き、お互いに認め合っている。</p>	<p>自らの行動や学びが適切であるか振り返りながら、より良い生き方を考え創り上げようとしている。</p>	
	<p>めざす子ども像</p>	<p>高学年</p> <p>課題を見つけ、見通しを持って仲間と共に解決しようとしている。</p>	<p>自分の意見と相手の意見を比べながら聞き、根拠を明らかにして自分の考えを、説明することができる。</p>	<p>相手意識を持ち、積極的に人間関係を築こうとしている。</p>		
	<p>研究</p>	<p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>自他との関わりを通して、学び続ける子どもの育成</p> <p>児童が自己変容をメタ認知し、自分の成長を語るができる。</p>			
	<p>めざす授業の姿</p>	<p>・見通し→自己選択・自己決定→学び合い→振り返り・評価のサイクルで自己変容を実感する授業</p>				

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立蔵王小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	力 _セ ス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力 _セ ス 評価	達成 評価	総合 評価
5	自ら考え学ぶ 授業づくりの 推進	★	継 続	・見通し→自己 選択・自己決 定→学び合 い→振り返 り・評価を通 して、自分の 変容に気付 く授業	・読み深め方を知り、自ら 読み深める力をつける フレームリーディング を実施する。 ・児童が、自分の現状をメ タ認知し、自己選択・自 己決定できる自主学習 週間(チャレンジウィ ーク)とチャレンジテ ストを実施する。	・1学期間に1単元以上のフ レームリーディングの実 施 ・自己選択・自己決定による 自主学習によって自分の 伸びを感じる児童が 70%以上 ・チャレンジテストの到達 度平均70点以上								
2	自己有用感を 育くむ居場所 づくりの推進		継 続	・たてわり班活 動を基盤と した特別活 動の充実	・児童会、縦割り班等を中 心に、自分で企画、実践、 振り返りを行い、自己有 用感を育む。 ・学期ごとの体力作り コーナーを設置する。 (体力テストの成果 と課題をふまえる)	・自分たちで企画、実 践、振り返りをする ことができている と評価する児童が 80%以上 ・自分の設定した体 力作り目標を達成 した児童が95% 以上								
6	保護者・地域に 信頼される学 校づくりの推 進		継 続	・自己肯定感 の持てる働 き方改革の 推進	・主体的な学びを生み 出す教育実践に向け、 日々の「対話」の質を 向上させ、教職員が学 びを自ら企画・実践す る。	・「やりがいがある」 と感じている教職 員が90%以上								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]	
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満 の達成度 概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の 達成度 ある程度目標を達成でき た。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の 達成度 あまり目標を達成できな かった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。